

区分: [RT-DAY3 月学院福音化]

- 1 課 「ヤコブとイスラエル」 (創 32:28)
- 2 課 「ヨセフの夢」 (創 37:1-11)
- 3 課 「奴隸になったヨセフ」 (創 39:1-6)
- 4 課 「監獄に行ったヨセフ」 (創 40:1-23)
- 5 課 「ファラオの前に立ったヨセフ」 (創 41:38)

講師 : 柳光洙牧師

日 場所 : 2024 年 2 月 24 日 / クァンジュセゲロ教会

要約

精神病時代、麻薬時代、自殺時代

発展が續けば、精神病時代、麻薬時代、自殺時代が来る。これから AI が作った音楽は、人々が実際に歌ったよりも、さらに上手に歌う深刻な時代が来る。私たちは、この部分を準備する必要がある。福音でなければできないのだ。

「福音 + 靈性 + 脳科学」

福音をもって靈性を備えた脳の癒やし時代が開かれる。結局は脳科学だ。

靈的サミット、技能サミット、文化サミット

靈的サミットに先になってこそ、この力によって技能サミットになる。そうしてこそ、ここ(精神病時代、麻薬時代、自殺時代)に陥った者を生かす文化サミットになる。

7、7、7

3集中、3答え、3セッティング

イエス様がくださった7つのやぐらと旅程、道しるべをもって3集中をしなさい。レムナントは、朝に目を覚まして5分、勉強ができるように余裕を持つ呼吸祈りをしなさい。夜は寝る前に、昼は勉強するときに少しだけしなさい。後には、来る問題と苦しみをすべて答えに変えなさい。これが3答えだ。そして、これ(靈的サミット、技能サミット、文化サミット、7・7・7、3集中、3答え)祈りで皆さんのプラットフォームを作り、人を生かす見張り台を建てるのだ。そして、人々が来て癒やされるアンテナをセッティングしなさい。

見張り人

わざわい時代

こうなると見張り人となり、わざわい時代(精神病時代、麻薬時代、自殺時代)を防ぐのだ。そのため、土曜日の核心は完全にレムナント中心に行きなさい。金曜日には力を受ける癒やし中心に行きなさい。聖日は完全にみことばの流れについて行きなさい。

これを持ってヨセフを見るのだ。これをヨセフは準備したが、どんな答えが来たのか。

□当然(条件)、必然(時刻表)、絶対(計画)

当然に来る。必然は条件が備えられたのだ。必然は時刻表が来たのだ。絶対は時代を生かす神様の計画だ。

▷今、私たちは祈りで世界福音化のために力を合わせるが、未来には一人二人が起きて揺さぶってしまう時代が来る。そのため、悪い人々が掌握する前に先にしなさいということだ。これから宇宙産業時代が来る。レムナントは早くキャッチして、その中でどんなコンテンツを持つのかを準備すべきだ。これから精神病時代、麻薬時代、自殺時代を防ぐことはできない。福音だけが防ぐことができるため、今からレムナントに教える必要がある。

①ヤコブとイスラエル

1. 20年

ヤコブは20年間自分が誰なのか、神様がなぜ私を呼ばれたのか分からなかった。神様を信じなくても豊かに暮らしている人が多いため錯覚したのだ。

2. ヤボクの渡し場

ヤボク川の渡し場で重要なことが起こった。あなたの名前をイスラエルとしなさい。答えが与えられたのだ。

3. ヨセフ

この中でヤコブにとって一番大きな答えがヨセフであった。ヨセフがこの契約を握った。

②ヨセフの夢

1. 苦痛

けれどもヨセフには苦痛が来た。母が亡くなったけれども、これがヨセフがサミットとなる道であった。

2. CVDIP

CVDIPを夢に見るほどになった。神様の契約の夢を見るほど確実になったのだ。

3. 創37:11

この契約をヤコブは心にとどめたとある。皆さん的心にとどめた契約は必ず成就する。

③奴隸となったヨセフ

1. 奴隸(道)

奴隸としていくことになったが、神様が最も確実な道を開かれた。これでなければ強大国のエジプトに行くことはできない。私たちが受ける苦しみは最も良い道だ。

2. ポティファル(軍隊の長官)

奴隸として行ったが、エジプトで一番力ある軍隊の長官の家に行ったのだ。ここですべての経済、行政を学んだ。その家の総務となり、ものすごく大きな家のすべての全体を管理した。

3. 誘惑

ヨセフに誘惑が来た。もしもヨセフがその誘惑を受け入れていたら、本当に楽で良かっただろう。それが滅びのことだ。ヨセフは本当の夢を知っていた。

4 監獄に行ったヨセフ

1. 濡れ衣(絶対計画)

完全に濡れ衣を着せられた。皆さんがこれから生きていく間に濡れ衣を着せられることは多い。そこには神様の絶対計画がある。確実だ。

2. 官長(政治)

ここで官長に会った。ものすごいことが起こった。政治の門が開き、政治を学ぶようになった。

3. 創 40:23(30歳)

夢を解き明かしてから、官長は釈放された。そのときに、ヨセフは官長が出て行ったら、私を思い出してくださいと言ったが、その官長はヨセフを忘れてしまったとある。ある日、ヨセフが30歳になった日であった。

5 ファラオの前に立ったヨセフ

1. 事件

ファラオが眠れないほどおかしな夢を見たが、それを解き明かすことができる人がいなかった。王が圧を与えるながら夢を解き明かせる人を探せと言ったときに、その官長はヨセフを思い出したのだ。

2. 創 41:38

ヨセフを紹介した。ファラオは本当にこの夢を解釈できるのかと尋ねたが、できないとヨセフは答えた。主が教えてくださると言いながら、夢を解き明かした。そのときに王が「神の靈が宿っているこのようない人が、ほかに見つかるだろうか」と言った。このようにして総理となった。

3. 創 45:1-5

これがヨセフの生涯だ。よく知っているけれども、私たちは順序をよく見る必要がある。同じだ。

レムナントが祈りながら夢を持ち始めたら、これがそのまま答えとして起きる。

全文

今日の私たちのオーケストラと私たちのレムナントの賛美とても素晴らしいです。ありがとうございます。このように集まるのは大変だったはずですが、それでも未来に向けて

続けてしていく必要があります。今、やぐらを紹介していますが、大人の方々全部の顔を少ししかめて、いつ終わるのだろうかという顔でした。ところで、今見せている部分は、レムナントが必ず知る必要があるのです。簡単に話せば、今日私たちのエディが話したことは、銀行の制度ではなく、今、電子で、非対面で銀行が動くということです。そこについての技術と金融制度を皆さん知らなければ、これからこのレムナントは遅れてしまうということです。それでも、もう間もなく天国に行く方もいるので、内容を少し半分くらいに減らしてください。なぜならメッセージをたくさん聞いて行く必要があります、この人々は。

[精神病時代、麻薬時代、自殺時代]

そして、今、このように発展しながら3つが来ます。精神病時代が来ます。ですから、勝てないので、麻薬時代に陥るのです。そして、これからは全体に靈的問題が来るので、どうしようもなく準備すべきです。自殺時代が来ます。今もしていますが、これからは、さらに多く来るということです。今も靈的に苦しいですが、精神疾患を持つ方がとても増えています。どうしますか。これからAIで音楽が出て来ます。すると、その技術は実際に人々が集まって歌うことよりも、もっと上手に歌えるのですが、どうしますか。深刻な時代が来ます。けれども、私たちが何を備えるべきかというと、この部分を準備する必要があるのです。そして、実際に福音でなければならないのです。

「福音+靈性+脳の癒やし」

そして、この福音をもって靈性を備えた脳の癒やし時代が開かれます。結局は、脳科学です。これからレムナントの中で、こちらの方に行くなら、不思議なことが起こるでしょう。単に何兆円ほども稼ぐのです。このレムナントの中で少し準備するならば、このような人物が出て来ます。今、恐ろしい時代が来ました。すぐにそうなります。それゆえ、これからは私が単に祈るのではなく「私たちのレムナント時代に核心を変える必要がある」と考えました。もちろん高齢の方々も尊いですが、それでも私たちレムナント中心に核心を変える必要がある。そして現在私たちのレムナントのやぐらと世界のやぐらを見るようにしてあげる必要がある。すると、この中からこれから悟った人物が世界を動かすようになるのです。イザヤが言ったときに悟ったダニエルのような人がいたため、生かしたのです。

[靈的サミット、技能サミット、文化サミット]

そのため、必ずすべきです。靈的サミットが何か見る必要があるのです、今。そのため、この力によって勉強してこそ、技能サミットになります。そしてこそ、この(精神病時代、麻薬時代、自殺時代)に陥っている人を生かすことができます。これが文化サミットです。レムナントは、必ず覚える必要があります。

[3集中、3答え、3セッティング]

そのため、イエス様が与えられた7つのやぐらと旅程と道しるべがあるでしょう。これをもって3集中をしなさい。どんな集中かというと、レムナントが朝に目を覚ました時に、少しでも、5分以上でも集中する祈りをしなさい。そして、勉強がよくできるように余裕を持つ呼吸祈りを、それゆえしなさいと言っているのです。レムナントが、夜にも寝る前に少しだけしてください。昼に勉強するときに少しだけしなさいということ。後にすごいことになります。このようにして、皆さんには問題も来たり、苦しみも来たり、様々なことが来るでしょう。これをすべて答えに変えなさい。これが3答えです。そして、必ずすべきことがあります。これを祈りをもって皆さんのがプラットフォームにしなさい。作られるでしょう。すると、人を生かす光を照らすことができるので、見張り台として建てるのです。すると、そこに入って癒やされ、良くなるでしょう。それがアンテナです。これをセッティングしなさいということです。何の話なのか分かるでしょう。今、大人の方々は、正しく事業をしようとしている方々は、必ずすべきです。

[見張り人]

[わざわい時代]

このようにして見張り人になるのです。では、光もなくやぐらもなく、何もないなら見張り人はできないでしょう。このようなことを持っているならば、見張り人になるのです。そのため、一言でいうなら、これをすべて合わせるなら、わざわい時代でしょう。これを防ぐのです。では、精神は狂っているのにお金は何百兆も持っています。どのようになるでしょうか。このような深刻な問題が来ます。そして、隠れて取引をするため、ものすごい金額が不法で行き来します。変な国を助けなさい、助けるな、と言う前に、裏で隠れてお金が行き来してしまうのです。ですから、私が切に祈っていることは核心、土曜日は完全にレムナント中心にしなさい。金曜日は本当に皆さんのが教会がこの祈りをして力を得る癒やし中心に行きなさい。そして、聖日は完全にみことばの流れに従って行きなさいということです。では、これをもって今、私たちレムナントは、ヨセフを一度見るのです。

[当然(条件)、必然(時刻表)、絶対(計画)]

これ(冒頭)をヨセフが準備したら、どのような答えが来たのかというと、「当然」が来ます。条件を備えたので。ヨセフは奴隸として行ったけれども、どのように総理となつたのでしょうか。なることができる条件がありました。当然。必然。しなければなりません、絶対。このように出たのです。では、これを科学的に言うとしたら、条件が備わったのです。総理になる条件。必然は何でしょうか。時刻表が来たのです。そうでしょう。絶対は何でしょうか。これは神様が世界を生かす絶対的な計画だ、ということです。神様の計画なので、絶対でしょう。このように答えを受けるのです。これは、単なる集まりではありません。牧師はレムナントを集めて祈っていますが、これは単なる祈りではありません。エディについて先

ほどしたでしょう。祈ってあげるべきです。あの人は、私が見るように、お金をたくさん稼げる人です。あの人は、皆さんの教会とレムナントのために出すことができる人です。あのよろうな人物が、私たちレムナントの中にたくさんいます。けれども、これからの時代は、本当に世界福音化する時代が来たのです。これから先ほど、今日の新聞を見たら、もちろん医者の問題もありますが、非対面の診療を許可、という文字が出ていたでしょう。これからは非対面時代に行くのです。

そして、5週間、皆さんはフォーラムをすべきですが、ヤコブとイスラエル(1課)、核心的なことをフォーラムする必要があります。2週目はヨセフの夢(2課)。ところで、奴隸になったヨセフ(3課)。皆さんは苦しみをどのように見るべきなのか、よく知っているでしょう。では、より深刻になりました。監獄に行ったヨセフ(4課)。このようになりました。最後に何でしょうか。ファラオの前に立ちました(5課)。総理になりました。このように、これを、この答えがこのように起こるのです。何か苦しみが無いほうが良いでしょう。けれども、神様は皆さんにこれを持っているなら、必ずこのように答えをくださいます。そして、これから世界福音化するためには、今、皆さんに祈りで、このように、このようにするでしょう。そして、今、力を合わせているでしょう。それも可能です。けれども、彼らの時代はそれではありません、一人二人が起きて揺さぶってしまうことが、今。そのような時代が来ます。ですから、悪い者たちが掌握してしまう前に、先にしなさいということです。それゆえ、今、私たちレムナントを先頭に今、続けて起こっているのです。今、たとえば、シンガポールのスホのような人がいるでしょう。あのような人は、単なる国ではありません。台湾、香港、シンガポールは、また違います。簡単に言うと、一番のトップを走っている地域で今、成功しているのです、今。そして、前に出て来た科学者いるでしょう、宇宙、これから宇宙産業時代が来ます。ですから、このようなレムナントがはやくキャッチして、私がその中でどのようなコンテンツを持つのか、それを準備する必要があるということです。これからは奪われません。前の第三次産業革命はすべて奪われてしまいました。けれども、奪われるはずがありません、これから靈的問題が来るため、これ(精神病時代、麻薬時代、自殺時代)防げません。これは光によって、福音によってのみ防ぐことができるため、今から私たちレムナントにこれを教えてあげべきなのです。あの胎児から、あの幼稚部から、あの大学・青年まで働きをしている皆さんにここについての流れをもって、やりがいを感じる必要があります。

1課 ヤコブとイスラエル

1. 20年

では、なぜヤコブは20年間何をしましたか。悟れなかったのです。ヤコブは20年間、私がだれなのか分からなかった、これです。神様がなぜ私たちを呼ばれたのか分からなかった。

なぜでしょうか、神様を信じなくても豊かに暮らしている人が多いでしょう。そう錯覚したのです。

2. ヤボクの渡し場

こうしてある日、ヤボク川の渡し場で重要なことが起こりました。そこでどんなことが起こったのか、皆さんは聖書を見て一度フォーラムをしてみてください。そのときに、大きな答えが与えられたのですが「あなたの名はもうヤコブとは呼ばれない。イスラエルだ。」と言われました。ものすごいことが。その名前イスラエルはヤコブの名前です。

3. ヨセフ

その中でイスラエル、ヤコブに一番大きな答えがありました、それは何でしょうか。それがヨセフです。12人の息子の中で、ヤコブの大きな財産12人の息子がいたのですが、その中で一番大きな答えがヨセフです。これをレムナントが分かるべきです。兄たちは分からなかつたのです。ヨセフの兄たちは何だけが分かったのかと言うと、まず食べて着て、まず楽しく暮らすこと、それだけが分かっていたのです。それも知る必要がありますが、それだけを知っていてはならないでしょう。それゆえ、私たちが今、このように祈って教会に行って献金する理由が、そのためにしているのです。靈的戦いでなくては何のために私たちが借錢をして神殿を建てて、そのようにするのでしょうか。そうでしょう。

2課 ヨセフの夢

1. 苦痛

では、ヨセフはついにこの契約を握ったのです。けれども、ヨセフには苦痛が来ました。どのような苦痛が来たでしょうか。このヨセフには母親が亡くなり、このような大きな困難が来ました。これがヨセフがサミットになる道でした。

2. CVDIP

どの程度でしょうか。CVDIPは確実なことですが、これを夢に見る程度になりました。それでゆえ、兄たちに夢の話をして、やらされました。そうでしょう。夢を見るほど、確実になつたのです。夢を見たので答えが来たということではありません。神様の契約がどれくらい確実だったのでしょうか。夢にまで出て来て。それゆえ、このヨセフはこの夢を見て、兄たちに話して、苦しみを受けたのですが、重要なことが一つあります。

3. 創 37:11

創世記37章11節に、この契約をヨセフとヤコブは心にとどめていたとあります。皆さんの心にとどめている契約は、必ず成就します。

3課 奴隸になったヨセフ

1. 奴隸(道)

では、どのように成就したのか、奴隸として行くようになりました。実は、これ以外には道はありません。奴隸として行くようになったのですが、神様が一番確実な道を開かれました。なぜ、これ以外に行けないのでしょうか。これ以外には強大国エジプトに行くことはできません。皆さんは皆さんが苦しみを受けているようでも、そうではないことは、その道が、最も良い道がその道であるからです。

2. ポティファル(軍隊の長官)

では、奴隸として行ったのですが、どこへ行ったのでしょうか。ポティファルの家に行つたのです。自分の思い通りには行けません。簡単に言うなら、エジプトで一番力のある軍隊の長官の家に行ったのです。では、ここでどんなことが起こったのか知っているでしょう。ここですべての経済と、すべての行政と、すべてのことを学んだのです。その家の総務となりました。管理をすべて。ものすごく大きな家なのですが、その家のすべての管理をすべて。

3. 誘惑

このヨセフに誘惑がきました。私たちレムナントは、これからこのような部分をよく見るべきです。ヨセフはその家にいた時に、ある女性のレムナントがワインクをしたなら、それは当然一緒にワインクをするでしょう。そうでしょう。皆さんに恋愛もするな、彼女と付き合うな、彼氏と付き合うな、と言っているのではありません。ポティファルの妻が、図々しい女がヨセフを誘惑したので、ヨセフは当然このように(×)したのです。もしもヨセフがその誘惑を受け入れたなら、本当に楽だったでしょう。様々な助けになったでしょう。それが滅びることなのです。ヨセフは本当の夢を知っていました。

4課 監獄に行ったヨセフ

1. 濡れ衣(絶対計画)

そのために監獄に行きました。監獄に行きましたが、監獄に行っても大丈夫です。完全に濡れ衣を着せられて。では、皆さんがこれから生きていく間に濡れ衣を着せられることは多いです。そのようなことは心配する必要がありません。ここには神様の絶対計画があるのです。私が何かを過ちをして行ったのではあれば、それは過ちによってあって、過ちもないのに、だれかに濡れ衣を着せられて行ったのは、神様の絶対計画がある、確実です。本当に異端があって、異端の濡れ衣を着せられた団体があります。その団体がいつでも世界福音化しました。一度も欠かさずです。

2. 官長(政治)

では、ここで何でしょうか。官長に会います。ここで官長に会ったので、それからものすごい事が起こります。政治の門が開き、政治を学ぶことになります。では、このようになるでしょう。ところで、ここでまた不思議なことが一つ出て来ます。

3. 創 40:23

創世記 40 章 23 節に夢を解き明かしてあげたら、官長が釈放されたでしょう。ヨセフにありがとうと言ってから釈放されていったことでしょう。あなたが夢をよく解き明かしてくれて、祈ってくれたことで私は釈放されることになった、ありがたかったでしょう。そのときに、ヨセフはこのように言ったのです。官長が出たら、私を思い出してください。そうでしょう。けれども、23 節にその官長はヨセフを忘れてしまった。皆さんのが学ぶことが多いです。これがまた神様の働きを成し遂げるのです。ある日、ヨセフが 30 歳になった日です。監獄に長い間いました。

5 課 ファラオの前に立ったヨセフ

1. 事件

このときに、事件が起こりました。事件が起こったことも、皆さん、神様の計画をよく見るべきです。ファラオがおかしな夢を見たのですが、眠れないほどおかしな夢を見たのですが解き明かすことができる人がいないのです。それゆえ、王がどんなに圧を加えて夢を解き明かすことができる人を探せと。そのときになって、この官長はこのヨセフを忘れていたのですが、思い出したのです。思い出すでしょう。私たちは切羽つまることがあると思い出します。それゆえ、ヨセフを紹介することになりました。

2. 創 41:38

ヨセフを紹介することになったのですが、ヨセフが言った言葉と王が言った言葉です。「本当にこの夢を解き明かすことができるのか」「私ではありません」と言いました。これがヨセフの答えです。私はできません。夢を解き明かしに来たのに。「主が知らせてくださるのです」そして、解き明かしたのです。そのときに、王が言った言葉です。「神の靈が宿っているこのような人が、ほかに見つかるだろうか」レムナントを見て、未信者が「このように神様を信じる素敵なお学生を初めて見た」

3. 創 45:1-5

このようにして総理になりました。これがヨセフの生涯です。よく知っていますが、私たちは順序をよく、同じです。レムナントが祈りながら夢を持つべきです、ここにこれ(本論)がこの通りに答えになります。全国、全世界のレムナントは、この器の準備をすることをイエス・キリストの御名によって祝福します。お祈りします。

祈り)

神様に感謝いたします。レムナント時代を開いてくださったことを感謝いたします。金土日時代を開いてくださったことを感謝いたします。今日、この時間に深い祈りの中で癒やしが起こりますように。今、この時間に私たちの教会と現場に神の国が臨みますように。今、私たちが行くべき現場に世界福音化が成し遂げられる神の国のが成就しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(終)